

第789回

診療所帰りとぼとぼ秋の暮

クリトン

ポケットの団栗ともに洗濯機

こひつじ

手のひらに石の丸きを乗せ秋思

亜紀

爽涼の日比谷に人を待たせけり

順之介

蔦かづら通学路であり通勤路

ヤチ代

後の月可もなく不可もなき余生

越冬こあら

晩秋や万人同じ星の上

